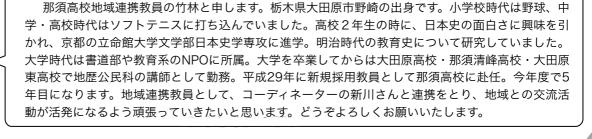


## 地域連携教員 & 魅力化コーディネーター紹介



地域連携教員 竹林先生 (地歴公民科)





那須高校魅力化 コーディネーター 新川夏澄(旧姓大平)

那須町芦野の農家5代目長女。美術の世界を目指し東京芸大油画科に進学。卒業後も東京の下町で暮らしつつ「食・土地・アート」をテーマに古民家ギャラリーカフェを経営しながら那須の里山地域と東京下町をつなぐ文化活動を展開。東日本大震災を機に自分の暮らし方を見直し自給自足のできる実家の那須町芦野にUターン。地産地消の飲食店を営みながら地域のお祭り、町づくり、イベント等に多数参加。環境イベント・アースデイ那須の実行委員長を5年務める。仲間たちと共に里山地域へのU,Iターンを推進しながら、地域の伝統や食文化を継承(とちぎ地産地消夢大賞優秀賞受賞)。地域おこし協力隊として那須に移住した夫との結婚を機に実家の築約120年経つ牛舎をカフェにリノベーション。今年6月皆様のご協力のもとカフェがオープンしました!現在那須の草花を押し花にし樹脂に閉じ込めた「摘み花アクセサリー」作家としても活動中。Instagramアカウント:新川屋 cafe\_arakawaya /摘み花 tsumihana\_kasumi

## \*\*\*

## コンポストで地域活性化 ?!

那須高校の家庭クラブ、JRC部は那須町の地域活性化を目的に活動しています。今年私たちが町のためにできることはないかを模索していたところ、着付けの先生として交流のあった地元の菊地厚子先生から依頼を受け※コンポストを作ることになりました。

(※コンポストとは…段ボール箱を利用した生ごみ処理容器で微生物の力によって生ごみを分解し、堆肥を作るもの)

コンポストについて調べてみると堆肥を作るだけでなく他のメリットもたくさんありました。

①野菜クズ等の生ゴミが減る→生ゴミ袋の節約になる→環境へ配慮したエコ活動につながる

②ゴミとして捨てない分、焼却処分するための燃料、費用が減る →焼却が減るため二酸化炭素の排出量の削減につながる…など。

実際にやってみると、家庭から

生ゴミが減ったことで、ゴミが 臭うことが無くなりました。 まだコンポストの堆肥は完成し ていませんが、すでに、多くの 人に広めていきたいという気持 ちです。

まずは、菊地先生のご指導のもと、コンポストの管理をマスターしていくことが目標です!

家庭クラブ顧問:田代 明香 JRC部顧問:佐々木 早貴





那須高校の環境整備をされている公仕の三森さんに、学校の花壇についてお話を聞きました。今の時期は職員玄関前にナスタチュームやガザニアの花がきれいに咲いていますが、7月半ばを過ぎると事務室前や西側フェンス辺りにヒマワリの花が咲き始めます。また紫陽花もこの辺りでは珍しい色が多くありとても見応えがあります。

那須高校と言えば夢という文字をお花で表現している「夢花壇」がありますが、三森さんに取材に行った時はちょうど夢花壇にマリーゴールドを定植したところでした。「お花で少しでも学校を明るくしたい」と今年勤務5年目になる三森さん。ぜひ那須高校へ来校された際は学校の美しいお花達も楽しんでくださいね。



A FIFE TO B

↑ガザニアの花 ←夢花壇